



# 消防千葉

2023 No.597 令和5年8月号

---

---

目次

巻頭言（成田市消防本部消防長）	2
第59回千葉県消防操法大会	3～5
第51回消防救助技術関東地区指導会	6・7
わが町の消防団（習志野市消防団）	8
わが町の消防団（流山市消防団）	9
東西南北	10～13
日々の動き	14

---

---



八千代ふるさと親子祭（八千代市） 千葉支部

## 巻 頭 言

## 「安全で安心に暮らせるまち」を目指して

成田市消防本部 消防長 青野 穰



日本と世界を結ぶ空の玄関口「成田国際空港」を擁する成田市。世界100以上の都市とのアクセスを持ち、国際色豊かな発展を見せる一方で、古くから門前町として栄えた歴史のある街でもあります。市の中心部である成田地区には1080余年以上の歴史がある成田山新勝寺があり、成田駅前から門前広場へ続く表参道は、今でも江戸時代の面影を残し、数多くの老舗が軒を連ねます。広い境内には5つの国指定重要文化財を有し、年間を通して多くの参詣者が訪れます。

こうした魅力のある都市で成田市消防本部は昭和40年に発足し、平成18年の市町村合併や香取郡神崎町の消防事務委託を受け、管轄面積約254平方キロメートル、人口約13万7千人を有し、現在は4消防署4分署、消防職員245名の構成で「安全で安心に暮らせるまち」を目指して各種業務に取り組んでおります。

当市は、国内最多の就航都市数を誇る成田国際空港を擁することから、空港でのテロ災害が懸念されており、消防本部としても全力を挙げて対特殊災害への初動対応能力の向上に注力してきました。2017年のNBC資機材の配備を皮切りに、2019年には高度救助隊「NaritaSuperRescue」を発足し消防力の充実強化に努めてまいりました。2019年のラグビー・ワールドカップ、2021年には東京オリンピック・パラリンピックなど大規模な国際イベントの開催にあたり、その対応能力はより一層高まっているものと考えております。

一方で、地域防災の中核として活躍している消防団は、人口減少や社会情勢の変化により、その担い手が徐々に減少しており、当市においても団員の確保が課題となっております。これまでも、機能別消防団員制度や学生消防団活動認証制度の導入をするなど団員の確保に努めてまいりましたが、今年から新たに消防団応援の店制度を導入し、地域を挙げて消防団を応援する制度を整備することで、地域との連携強化に加え消防団の活性化を目指しております。

結びに、現在、厳しい社会経済情勢や複雑化する災害など、私たち消防行政を取り巻く環境は困難なものとなっております。この困難を乗り越え、より良い組織を構築するためには、職員一人ひとりが、何のために行動するのか、そこにはどういった背景があるのか、目的達成には何が必要なのかを自ら考えて実行する。また、困難なミッションにも臆せず果敢にチャレンジしていくこと。そして、前例踏襲にこだわらず、多様化する消防へのニーズに柔軟に対応し、変化に取り残されることなく、進化していかなければいけません。我々消防職員にとって市民の生命・身体を守るという最大の目的はもとより、市民サービスの向上といった目的を達成するために何が必要なのか「考え」、「挑戦」し、「進化」していく。そんな消防本部を目指してまいります。

## 第59回 千葉県消防操法大会の開催

(令和5年7月22日、於千葉県消防学校)

千葉県と(公財)千葉県消防協会が主催(後援(公財)日本消防協会)する第59回千葉県消防操法大会が、7月22日(土)千葉県消防学校において開催されました。

大会は、新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和されたことから、開催規模を前年度より拡大し、一般観戦者の入場も認められ、家族でお父さんの応援など微笑ましい光景も見られました。

当日は猛暑のなか、県内の消防関係者等約800名が参加し、県内支部代表のポンプ車操法の部11チーム、小型ポンプ操法の部12チームが出場して日頃の訓練の成果を競い合い、消防操法技術の向上と士気高揚を図りました。



開会式



中村総指揮者

午前9時、中村教雄印旛支部長の総指揮者宣言による整列の後、開会の宣言が行われ、大会名誉会長熊谷俊人千葉県知事、大会会長 石橋毅千葉県消防協会会長の挨拶に続き、伊藤千葉県議会議長、宮川千葉県議会総務防災常任委員会委員長をはじめ多くの来賓の皆様の紹介が行われ、大石学消防学校長から審査に係る諸注意の後、出場団員代表の宣誓をもって開会式は終了しました。



熊谷千葉県知事



石橋消防協会長



大石消防学校長



出場団員代表宣誓



選手への激励

操法演技の開始前には、熊谷千葉県知事、石橋千葉県消防協会長が各支部に赴き、選手への激励が行われ、競技が開始されました。

各消防団から持ち込まれたポンプ車及び小型ポンプによる操法競技が開始され、各消防局、消防本部から選抜された審査員が厳しく審査する中、各チームの指揮者の力強い号令のもと、きびきびとした動きで、技の速さ、正確さを競い合い、消防関係者の見守るなか素晴らしい演技が展開され、会場から大きな歓声が上がっていました。

### ポンプ車操法の部



### 小型ポンプ操法の部



競技終了後、10月21日（土）に東京都で開催される第25回全国女性消防操法大会に千葉県代表として出場する館山市女性消防隊による軽可搬ポンプ操法の演技が披露され、会場からは激励の大きな拍手が送られました。

審査の結果は、大石学審査長（千葉県消防学校長）から発表され、団体表彰の最優秀賞については、ポンプ車操法の部は匝瑳市消防団が、小型ポンプ操法の部は、市原市消防団が受賞しました。



館山市女性消防隊の皆様



ポンプ車操法の部 匝瑳市消防団



小型ポンプ操法の部 市原市消防団

★ 団 体 の 部 成 績

ポンプ車操法の部		小型ポンプ操法の部	
順 位	消防団名	順 位	消防団名
最優秀賞	匝瑳市消防団	最優秀賞	市原市消防団
優 秀 賞	市川市消防団	優 秀 賞	成田市消防団
優 良 賞	四街道市消防団	優 良 賞	市川市消防団
努 力 賞	浦安市消防団	努 力 賞	横芝光町消防団
//	成田市消防団	//	柏市消防団
//	いすみ市消防団	//	神崎町消防団
//	習志野市消防団	//	富津市消防団
//	富津市消防団	//	いすみ市消防団
//	館山市消防団	//	印西市消防団
//	九十九里町消防団	//	鋸南町消防団
//	長生郡市広域市町村圏組合消防団	//	匝瑳市消防団
		//	長生郡市広域市町村圏組合消防団

★ 個 人 の 部 成 績

ポンプ車操法の部			小型ポンプ操法の部		
順 位	消防団名	氏 名	順 位	消防団名	氏 名
最優秀指揮者	浦安市消防団	戸頃 健太	最優秀指揮者	市原市消防団	阿部 善浩
最優秀1番員	市川市消防団	藤井 丈	最優秀1番員	市川市消防団	岡本 成生
最優秀2番員	匝瑳市消防団	立花 祥吾	最優秀2番員	横芝光町消防団	山崎 昌志
最優秀3番員	市川市消防団	三谷 昌秀	最優秀3番員	いすみ市消防団	鶴岡 重臣
最優秀4番員	浦安市消防団	平野 翔太			

# 第51回消防救助技術関東地区指導会

～ 千葉県消防長会 ～

7月13日(木)茨城県及び7月27日(木)栃木県において、一般財団法人全国消防協会関東地区支部主催による、第51回消防救助技術関東地区指導会が開催されました。

本指導会には、1都9県(171消防本部)から選抜された668名の隊員が、陸上の部3種目と水上の部7種目及び技術訓練に出場し、8月25日(金)北海道札幌市で開催される第51回全国消防救助技術大会を目指して日頃錬磨した救助技術を競いました。

千葉県からは10消防本部100名の隊員が県代表として出場、応援に駆け付けた皆様の大声援を受けて、日頃の成果を発揮し、以下の隊員が関東地区代表として全国大会への出場権を獲得しました。

## 陸上の部

### ☆ 引揚救助



・山武郡市広域行政組合消防本部

- 消防士長 林 航平
- 消防士長 斉藤 正剛
- 消防副士長 麻生 和輝
- 消防士 大柴 悠人
- 消防士 栗原 蒼汰



・市川市消防局

- 消防司令補 廣田 俊朗
- 消防司令補 田中 道智
- 消防士長 村山 孝文
- 消防士 篠塚 駿
- 消防士 倉元 聡



・成田市消防本部

- 消防司令補 久保木 慎也
- 消防士長 椿 拓真
- 消防士長 矢橋 政彦
- 消防副士長 菅澤 諒介
- 消防副士長 菅澤 宙



・浦安市消防本部

- 消防士長 金林 正人
- 消防士長 大塚 純也
- 消防士長 小西 雄真
- 消防副士長 金木 大
- 消防士 寺鍛冶 工

## ☆ ロープブリッジ救出



- ・千葉市消防局
- 消防士長 宮川 成人
- 消防士長 永塚 蘭斗
- 消防士 中田 知明
- 消防士 狩野 誠也

## ☆ 障害突破



- ・成田市消防本部
- 消防司令補 村松 博文
- 消防士長 大森 脩登
- 消防士長 布留川拓耶
- 消防士長 小林 史和
- 消防士長 菅澤 周太

## 水上の部

## ☆ 複合検索



- ・市川市消防局
- 消防士 篠原 優太

## ☆ 水中結索



- ・市川市消防局
- 消防士長 小林 翔易
- 消防士長 安井 徳弘
- 消防士 篠原 優太

## 5月25日 千葉県大会結果による全国大会出場者(陸上の部) … 6・7月号に掲載

## ☆ はしご登はん

- ・印西地区消防組合消防本部
- 消防士長 成嶋 雄太

## ☆ ロープ応用登はん

- ・印西地区消防組合消防本部
- 消防士長 倉林 佑多
- 消防士長 濱川 雄大

## ☆ ロープブリッジ渡過

- ・鎌ヶ谷市消防本部
- 消防士長 澁谷 泰介

## ☆ ほふく救出

- ・成田市消防本部
- 消防司令補 安藤 達朗
- 消防士長 平久保新悟
- 消防士 鈴木 暁斗

## おわりに

全国大会へ出場される隊員のご活躍を期待しますとともに、皆様からのご声援もお願いいたします。

## わが町の消防団 ① 習志野市消防団

習志野市は、千葉県の北西部に位置し、古くは騎兵連隊・鉄道連隊が置かれるなど軍隊の街として発展してきました。高度経済成長期と共に海岸部は埋め立てられ、現在は、その平坦な埋立地と内陸部の自然地形からなる20.97km<sup>2</sup>、人口17.5万人の文教住宅都市として発展しています。また、東京まで30km圏内にあり、各種交通網の発達と近年のJR津田沼南口地区の区画整理事業により高層マンションが建ち並ぶなど、首都圏に通う人々のベッドタウンとして発展が著しいのも特徴です。



一方で、「あしたのハーモニーが響くまち 習志野」こどもから大人まで音楽に親しみ、自然と調和するまち、明日に向かって新しい魅力がどんどん生まれている街でもあり、ラムサール条約登録湿地で野鳥が集う谷津干潟をはじめとする自然があふれ、市内の学校では毎年全国コンクールで栄誉を受けており、「美爆音」で有名な市立習志野高校もそのひとつです。スポーツも盛んで、全国レベルの部活動を誇る市立習志野高校をはじめ、社会人アメフト強豪チーム、オービックシーガルの本拠地や大相撲、阿武松部屋があります。また、ご当地グルメとして習志野ソーセージも有名です。

習志野市消防団は、飯田裕一団長以下154名(令和5年6月現在)で組織され、1団本部8分団で構成されています。うち女性消防団員は9名で各分団に所属しており、各種災害だけでなく、消防関係行事や救命講習等でも活躍しています。各分団には、それぞれ消防ポンプ自動車(CD-1型)を1台配備し、市内のどこで災害が発生しても素早く現場まで駆けつけ迅速に消火活動ができる体制を敷いています。



また、日ごろから、規律、機械器具の取扱い、中継送水・放水、消防団車両の操縦などの定期訓練、操法訓練を行っており、春・夏・秋季の消防団全体訓練では災害対応能力の向上や安全運転技術の習得を目指した訓練を実施しています。このほか、市や地元の町会等が行う防災訓練や、小中高校への普通救命講習に積極的に参加し地域防災力の強化に努めています。



消防団の処遇改善及び体制の充実にも力を入れており、令和5年に消防団条例の一部改正を行い、新たな役職として本部員(本部付け分団長階級)を新設し、団本部と各分団の橋渡し役を担うほか、団員の教育指導に努めています。

その他、消防団の充実強化に向けた重点取組事項のひとつである、消防団活動を実施した大学生等に対する認証制度導入による就職活動支援について、「習志野市学生消防団活動認証制度」を令和4年度に制定し、現在3名が認証を受けています。

最後に、火災のみならず今後起こるとされている首都直下型地震、近年毎年のように発生している大規模な台風等の自然災害にも対応するため、普段から訓練を積み重ね一致協力して、「我が街は自分たちの手で守る」という強い使命感のもと今後も活動してまいります。



## わが町の消防団 ② 流山市消防団

流山市は、人口210,633人(令和5年6月1日現在)、面積は35.32km<sup>2</sup>で千葉県の北西部に位置し、「都心から一番近い森のまち」を目指して豊かな自然環境に調和した良質な住環境の整備を進めています。平成17年にはつくばエクスプレスが開通し東京都心方面へのアクセスが大幅に向上したことで、特に市内中心部の発展が著しい中、古くから残る歴史ある名所も点在しており、互いの魅力が織り成す魅力あるまちです。



また、急激な人口減少時代のなか、「母になるなら流山市」、「父になるなら流山市」のキャッチコピーを打ち出し、子育て支援や教育環境の充実に力を注いだことで、特に子育て世代の方々からの人気を集め、その結果、人口増加率は全国792市中6年連続で第1位となりました。(令和5年4月報告)

さて、流山市消防団は、市内からの火災発生件数を1件でも減らし、また地震等の災害から市民を守ることを使命として、梅澤一雄団長以下267名(うち女性10名)、1本部、6方面隊、22個分団体制で(令和5年4月1日現在)、日夜地域住民の安心安全のため活動しています。

活動内容につきましては、各種災害対応訓練の他に火災を予防するための取組として、日々の広報パトロールに加えて、火災による死者の約70%が高齢者であることから、単身高齢者世帯の防火診断を行っております。

また、消防団員は全国的に減少傾向にあり、当市においても例外ではないことから、消防団組織を維持、発展させるため市内の主要な駅等で消防団員募集活動を積極的に行っております。さらに、災害発生時は人と人との助け合い「共助」が減災に繋がることから、災害に強いコミュニティを作るため、機械器具置場や大型ショッピングセンター駐車場にて防災イベントを開催し、消防団が地域住民同士の交流の架け橋となれるよう注力しております。

これからも、水と緑の豊かな自然が息づく我がまち流山の成長とともに、あらゆる災害から市民を守るため、消防団員が一丸となって活動して参ります。

これから、水と緑の豊かな自然が息づく我がまち流山の成長とともに、あらゆる災害から市民を守るため、消防団員が一丸となって活動して参ります。



# 東 西 南 北

## 東 西 南 北 入院している子供達にオンライン消防署見学 千葉市消防局

千葉市消防局では、認定NPO法人ミルフィーユ小児がんフロンティアーズと協力し、令和4年12月21日（水）に小児がんにより千葉大学医学部附属病院に入院しており、外出ができない子供達が、オンラインで消防署見学を実施しました。

消防署見学では、子供達がBeamという遠隔操作ロボットを病院から自由に操作し、様々な角度から消防車両や資機材の見学をしました。また、Zoomを使用して消防共同指令センターの見学も実施しました。

普段外出することができない子供達が、ロボットの操作を通して、興味津々に自由に消防車の見学をしており、たくさんの質疑が出るなど、有意義な見学となりました。



## 東 西 南 北 さくら女子インターンシップを開催 佐倉市八街市酒々井町消防組合

佐倉市八街市酒々井町消防組合は、12月2日、3日の2日間、さくら女子インターンシップを開催しました。

「さくら」=優美・優雅（花言葉）をコンセプトに、さくら色のヘルメット、ホース、手袋を装着し、放水体験、はしご車搭乗体験などを行い、その他、庁舎見学や現役女性消防吏員との座談会などを行いました。

当組合としては初の試みでしたが、2日間で30名の学生が参加し、華やかなさくら色のもと、大変盛り上がりました。

参加者からは「女性が働きやすい職場で一緒に働きたいと思った」などのうれしいお言葉もいただき、今後は女性に限らず、このような取り組みを通して、女性消防吏員の活躍推進の場を広げたいと思います。



## 東 西 南 北 「旧手賀教会堂を守る！」消防団連携消火訓練を実施 柏市消防団

柏市消防団第5方面隊は、1月22日に文化財防火デーに合わせ、柏市指定史跡に登録されている「旧手賀教会堂」で消火訓練を実施しました。この文化財建造物は、茅葺屋根の民家を教会堂に転用した、現存する日本で唯一の転用教会堂で、首都圏で現存する教会堂としては、最古のものです。火災により建物に被害がおよぶ危険があるという想定で実施し、消防水利から火点までの長距離を9つ全ての分団でホースを繋ぎ合わせて放水しました。これからも「自分たちの地域は自分たちが守る!」という郷土愛と消防精神のもと、あらゆる災害から文化財を守り、後世に残していきます。



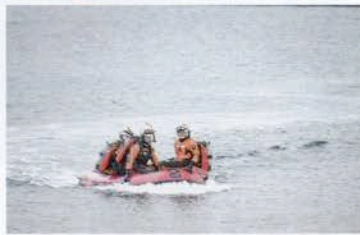
## 東 西 南 北 各関係機関との水難救助海洋合同訓練

船橋市消防局

船橋市消防局は、令和4年12月22日、ふなばし三番瀬海浜公園南東側一帯海域において、千葉海上保安部、千葉県警察、市川市消防局及びふなばし三番瀬海浜公園の連携のもと、5機関約70名が参加する水難救助海洋合同訓練を実施しました。

この訓練は、毎年発生する多様な水難事故のうち、死亡事故に繋がることが多い三番瀬海域の立入禁止区域内で発生した水難事故を想定し、各関係機関との連携を強固にするとともに、効果的な水難救助活動に繋げていくことを目的として行ったものです。

訓練では、各関係機関の代表者が現場指揮本部にて、情報の共有及び活動方針を決定するなど、今後の水難事故に向けて、とても有意義な訓練となりました。



## 東 西 南 北 船橋市消防訓練センターにおいて火災調査 研修を実施！ ～火災原因の究明を目指して～

船橋市消防局

車両火災に対する基礎知識及び技術を習得することにより、鑑識力の向上を目的として、各消防署の火災調査を統括する署調査員36人に対し、実車を用いた構造確認や燃焼実験を主体とした火災調査研修を実施しました。

車両火災の担当機会が少ない調査員が増えており、車両鑑識に対する経験、知識の不足が懸念されるため、今後も火災調査研修を実施し、職員の火災調査能力を向上させ、一つでも多くの火災原因を究明することを目標とし、火災予防を推進してまいります。



## 東 西 南 北 文化財防火デーに伴う消防訓練を実施

君津市消防本部

君津市消防本部では、令和5年1月26日(木)の文化財防火デーに貴重な文化財を火災から守るとともに、地域住民の文化財愛護に関する意識の高揚を図るため、市指定有形文化財の欄間彫刻が装飾されている萬福寺において消防訓練を実施しました。

訓練内容は萬福寺隣家から出火し、萬福寺へ延焼拡大したとの想定により訓練が行われ、終盤には火勢を一挙制圧するための一斉放水を行いました。

今後も、文化財保有施設関係者や地域住民の協力のもと職員一丸となって、防火意識高揚のための啓発活動を推進し、文化財での火災ゼロを目指します。



## 東 西 北 東 南 北

### チェーンソー講習会を実施 市原市消防団

市原市消防団では、装備品のひとつであるチェーンソーを災害時に安全に使用できるようにするため、昨年度に引き続きチェーンソー講習会を実施しました。

有資格者で木材関係を生業にする消防団員と消防職員が講師となり、点検要領、樹幹が横状と縦状での使用方法、樹幹が地面に設置している状況での切断要領、回転方向による反動力の違い、回転数の変化や切れ味の違いについての技能を習得しました。

資機材の充実強化を図り、効率的な活用ができるように今後もこのような訓練を継続的に行っていきます。

市原市消防団は、「災害に対する強靱なまち“いちほら”」を目指します。



## 東 西 北 東 南 北

### 千葉ジェッツから花束を頂きました 船橋市消防局

船橋市消防局及び鎌ヶ谷市消防本部は、令和4年12月31日(土)、プロバスケットボールリーグ・Bリーグの千葉ジェッツ対三遠ネオフェニックス戦におけるオープニングセレモニーに招待して頂き、感謝の花束を頂きました。

当セレモニーは、千葉ジェッツと、オフィシャルパートナーである鎌ヶ谷バースクリニックからコロナ禍で活動が困難な中、救急業務に従事する両市の救急隊員に対して感謝の意を込めて、花束を贈呈していただいたものです。

我々船橋市消防局及び鎌ヶ谷市消防本部救急隊一同は、このご厚意を胸に、これからも市民の「安心・安全」を守るため、日々精進してまいります。



## 東 西 北 東 南 北

### 令和5年春季松戸市消防局八ヶ崎消防署火災予防運動について 松戸市消防局

松戸市初のショッピングモールであるテラスモール松戸において3月5日(日)「松戸市八ヶ崎消防署火災予防運動」を実施しました。このイベントは、コロナ禍により中止が続き、オープン当初から4年越しの企画開催となりました。まつど応援キャラクターの松戸さんや女性防火クラブ、消防団、消防音楽隊とともに、啓発品の配布による消防団加入促進やミニコンサート、火災予防広報活動などを行いました。イベントを開催するにあたり、感染防止対策について十分に協議を図り、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、規模を縮小しながらのイベント開催となりました。

約450名に参加していただき、火災予防思想普及推進の一助となりました。



## 東 西 北 南 北 市原市消防団 機動型団員募集活動を実施

市原市消防団では、オリジナルステッカーとマグネットシートを作成し、消防団車両はもとより、市内を走るタクシー、ごみ収集車、市役所車両と連携した機動型団員募集広報活動を開始しました。

この事業は、総務省消防庁の「消防団の力向上モデル事業」を活用し、千葉県タクシー協会市原支部と連携して市内全域を走るタクシー約400台と公用車約500台を広報媒体として捉え広報活動を行うものです。消防団員が、地域の安全・安心に貢献していることを幅広い年齢層に感じていただけるよう機動型広報活動を展開しています。

市原市消防団は、異業種と連携し、有事の際に効率的な活動ができるように、「災害に対する強靱なまち“いちはら”」を目指します。



## 東 西 北 南 北 流山市消防本部 商店街で消防フェアを開催

令和5年2月26日(日)市内の江戸川台東口商店街にて、消防フェアを開催しました。起震車や車両展示、また、消防フェアに来ていただいた子どもたちには、子ども用防火服を着て流山市消防本部のマスコットキャラクターである、「おおたか君」と一緒に記念撮影を行い大盛況の中、火災予防のPRができました。

今後も市内の火災予防に努めていきたいと思えます。



## 東 西 北 南 北 第1回流山市事業所対抗応急手当ラリー 流山市消防本部

令和5年2月9日、流山市生涯学習センターにておいて、応急手当に関する救急訓練の一環として、「事業所対抗応急手当ラリー」を開催しました。

医療資格を持たない市内各事業所の職員3名を1チームとし、参加チームは10チームに上った。1症例の効果確認時間は最大5分間とし、フィードバックを含め1チーム6分間、新型コロナウイルス流行期の普通救命講習に準じた(心肺蘇生症例、窒息症例) 応急手当の手順に従い2症例を実践に近い状況下に再現し救急救命士のみならず、医師及び看護師を招聘して症例終了後、多角的な知見から検証を受けることで、参加者の救命に対する意識及び技術の向上を図る事が出来た。競技形式にする事で、事業所内の結束を深め、流山市民の利益及び救命率の向上に繋げる事が出来たと思えます。



## 東西北 安モニア漏えいを想定した特殊災害訓練を実施

### 東南北 船橋市消防局

船橋市東消防署では、令和5年2月の3日間、船橋市消防訓練センターにおいて特殊災害発生時の活動要領の習熟を目的とした訓練を実施しました。



「冷凍倉庫内の配管工事中にアンモニアが漏えいし、複数人の作業員が取り残されているようだ。」との想定のもと、活動区域設定、現場指揮、部隊運用、除染活動についての連携訓練と模擬報道発表訓練を行いました。

また、更なる活動能力向上のため、評価者による効果確認を実施し、訓練後は検討会を開いて振り返りを行い、改善点について意見交換をしました。

## 日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

令和5年9月

- 2日 第44回九都県市合同防災訓練(我孫子市)
- 6日 女性防火研修会(千葉県消防学校)
- 14日 第42回全国消防殉職者慰霊祭(ニッショーホール)

**2023年度 全国統一防火標語**  
**「火を消して 不安を消して つなぐ未来」**

<表紙の説明>

### 八千代ふるさと親子祭（八千代市）千葉支部

八千代ふるさと親子祭は、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響により令和元年に実施したのを最後に中止が続いておりましたが、今年は4年ぶり、県立八千代広域公園および村上橋周辺にて、8月26日（土）に第49回大会として開催することが決定されました。今回は総打ち上げ数5,000発、仕掛け花火など見ごたえのあるコンテンツを用意しております。

また、本市消防団も安全な祭運営のため警備活動に従事しますので、皆様お誘い合わせの上、是非ご来場ください。



<記事の訂正について>

令和5年6・7月号の5ページ「令和5年度 消防団長」中で、鎌ヶ谷市消防団長の名前表記に誤りがありましたので、お詫びし、訂正いたします。

御迷惑をお掛けし大変申し訳ございません。

(誤) 飯田 善治 ⇒ (正) 飯田 喜治